

見つけた、
もうひとつの場所



消防団員募集中

消防団に関する詳しい情報はWEBで
消防団への応募手続について、詳しくはお問い合わせ先へご連絡いただくか、
消防団の公式ウェブサイトをご覧ください。 [消防団](#) [募集要項](#)



【お問い合わせ先】



総務省消防庁

Fire and Disaster Management Agency

消防団とは

消防団は市町村の非常備の消防機関であり、その組織員である消防団員は本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき活動を行っています。その活動は消火活動のみならず、大規模災害時の救助活動、避難誘導、災害防衛活動など非常に重要な役割を果たしています。さらに、平常時においても地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

消防団の活動

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。

また近年は、女性の消防団への参加も増加しており、特に一人暮らし高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。

平常時の活動

- ① 防火指導・啓発活動・高齢者訪問
- ② 応急手当の普及活動
- ③ 広報活動

災害時の活動

- ④ 消火活動
- ⑤ 救助活動
- ⑥ 避難誘導

消防団員インタビュー

桑畑拓実さん

所属：尼崎市消防団第5分団
職業：製造業



団員の熱気に呼ばれて消防団へ

消防団員である会社の上司から声をかけられ訓練を見学したときに、団員の方々がものすごい集中力で活動に打ち込む姿を見て、消防団への入団を決めました。

本当に消防団の方々は熱い方が多く、普段の活動だけでなく、分団同士で消防用機械器具の点検やポンプ操作の技術を競うような訓練大会も全力で取り組み、よい成績を収めています。

世代の架け橋になりたい

職場でも常に防災意識を持ち、消防団員としても高いモチベーションで活動している先輩たちの背中を見てきているので、自分もその一員としてこれからもっと経験を蓄積していきたいと思っています。

また、コロナ禍で中止を余儀なくされていましたが、ようやく学校での防災イベントなども再開されてきているので、自分より若い世代と同世代、さらに上の世代をつなぐような存在になっていきたいと思っています。まずは、もっと同年代の輪を広げていけたらいいと思います。



【編集後記】「住宅火災を防ぐために」

昨年11月に、往年の名投手だった村田兆治さんが自宅の火災で亡くなったことは野球ファンならずともショッキングなニュースであった。報道によれば、死因は一酸化炭素中毒で一人住まいであったという。先日公表された消防白書によると令和3年の全国の火災による死亡者（放火自殺者等を除く）1,143名のうち住宅火災による死者は966名でうち高齢者が74%を占めるといふ。死者を出した火災の原因は、タバコ、ストーブ、電気器具の順となっている。全国の女性防火クラブ員の皆さんの献身的な普及活動により住宅用火災警報器の設置率は84%に達し、住宅火災の件数は着実に減少してきたが、耐用年数を経過した機器の交換や連動型、CO警報付加型など先進的機能を持つ機器の導入なども課題となっている。最近も火災のニュースをよく耳にする。総務省消防庁では「住宅防火いのちを守る10のポイント」という平易な広報動画をホームページ上で公表しているの、御覧いただき火災予防の一助とすることをお薦めする。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2023年2月号（通巻48号）

- 発行日 令和5年2月15日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 高尾 和彦
- 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19（ヤクルトビル内）
- TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851
- URL <https://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社